

## (8) 家族同士の連絡

### 家族での打ち合わせ

いつでもどこにいるかの情報、出かけているときの連絡方法を  
知っておく。

### 家族の連絡先

(                    )  
(                    )  
(                    )

- ★大きな地震が起こったとき、お互いにどうやって連絡を取りあうか、安否の確認はどうするかなどについて、家族の間で日頃から話し合っておくことがとても大切です。また、同じ地震では被害を受けないであろう親戚や知人への連絡方法も決めておくことが重要です。
- ★固定電話も携帯電話も、回線の容量に制限があり、同時に全ての電話をつなぐことは出来ません。つまり、回線が飽和してかかりにくくなります。大きな地震のときには、固定電話も携帯電話も、発信規制や着信規制が行われる可能性もあります。阪神大震災のときには、公衆電話がかかりやすかったようです。公共性ということで、公衆電話の回線容量が大きいからでした。
- ★電話会社では安否の確認に「災害用伝言ダイヤル（171）」を使用するようにと勧めています。（171）は、自宅や勤務先などの固定電話番号をキーとして伝言を登録・再生できるサービスです。  
（171にダイヤルすると音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生ができます。）  
(1) 伝言の登録：171→「1（登録）」  
→「XXX -XXX-XXXX（自宅や勤務先の電話番号）」  
(2) 伝言の再生：171→「2（再生）」  
→「XXX -XXX-XXXX（自宅や勤務先の電話番号）」
- ★携帯電話にも「災害用伝言版サービス」があります。
- ★インターネットでは「web171」（<https://www.web171.jp>）で、文章メッセージを、登録・通知／確認できます。